

◆考古学の世界～世界の考古学～



主 題 金沢大学国際文化資源学研究センターは平成23年2月に人間社会研究域に設置された新しい研究組織です。有形・無形の「文化資源」に関する総合的・多角的な研究と保護・活用法の開発を進めています。なかでも考古学研究はセンター事業の大きな柱となっており、教員・研究員を合わせて10名もの研究者がその研究に従事し、世界各地の遺跡の調査を展開しています。

講座番号 ③-5

時 間：午後2時～3時30分

場 所：築地社会教育会館

回 数：5回

受講料：1,500円

定 員：60名

本講座では、そのうち5名の教員が世界各地におけるフィールドワークの成果を数多くの写真をもちいてわかりやすく解説するとともに、現在の考古学研究の最新手法について触れることで、考古学者がどのようにして先史・古代の実像を明らかにしていくのかについても紹介していきます。

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	9/29 (土)	熱帯に栄えた古代都市群 ～マヤ文明の実像と研究の最前線～	中村 誠一
第2回	10/ 6 (土)	ユーラシア草原地帯における初期遊牧民の始まり	高濱 秀
第3回	10/13 (土)	ヒツジ遊牧の起源 ～シリア・ヨルダンの遺跡調査～	藤井 純夫
第4回	10/20 (土)	古代イラン文明の秘宝 ～新発見キャルマーキャッラ洞窟の謎～	足立 拓朗
第5回	10/27 (土)	河姆渡と良渚 ～稲作文化の原像と中国文明の起源～	中村 慎一

講師紹介

中村 誠一 (なかむら せいいち)

金沢大学人間社会研究域附属国際文化資源学研究センター教授。早稲田大学及びサイバー大学客員教授。マヤ地域の世界遺産で数多くの考古学プロジェクトを指揮し、2000年ホンジュラス・コパン遺跡で「王墓」を発見。古典期マヤ王朝史の復元を研究課題としている。

高濱 秀 (たかはま しゅう)

金沢大学人間社会研究域歴史言語文化学系教授。文学修士。東京大学大学院人文科学研究科考古学専門課程修了。中央ユーラシアの青銅器文化や初期遊牧民文化などを主な研究課題としている。

藤井 純夫 (ふじい すみお)

金沢大学人間社会研究域歴史言語文化学系教授。博士(文学)。東京大学文学部考古学専修課程卒業。ヨルダンやシリアなど、西アジア地域の新石器文化についてフィールド調査を重ねている。

足立 拓朗 (あだち たくろう)

金沢大学人間社会研究域歴史言語文化学系准教授。博士(文学)。青山学院大学大学院文学研究科史学専攻修了。イスラーム期以前の西アジア史を考古学的に研究。西アジアにおける帝国の成立が主な研究課題。

中村 慎一 (なかむら しんいち)

金沢大学理事(教育担当)・副学長。博士(文学)。東京大学大学院人文科学研究科考古学専攻修了。アジア稲作の起源と進化、長江流域を中心とする中国新石器文化、古代文明の比較考古学を主な研究課題としている。